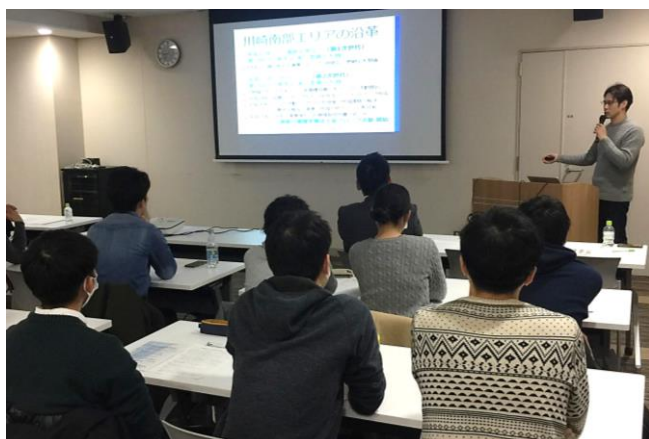


(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会
川崎南部ブロック災害対策キャラバンが開催されました。

去る平成 31 年 2 月 13 日(水)川崎幸病院におきまして川崎南部ブロック災害対策キャラバンが開催されました。「川崎南部ブロックにおける災害時支援体制と防災・減災対策からリハビリテーションとの連携や役割について検討する」をテーマに川崎市より早川 雄大氏(川崎市総務企画局 危機管理室 危機管理計画担当)、外村 由貴氏(川崎市健康福祉局 保健所 健康増進課)、佐藤 範佳氏(太田総合病院リハビリテーション科/川崎南部ブロック長・エリアコーディネーター) よりお話しいただきました。早川氏からは、川崎市の防災計画や支援方針について、「災害の備えとして必要最低限であるため、川崎市民 150 万人が少しずつ備蓄をすることで、本当に支援が必要な方に物資が届けられる」という言葉がとても印象的に残りました。外村氏からは、川崎市の災害時医療救護体制について、平時の保健師の役割や業務内容の紹介から、災害時の保健活動の実際について、平成 30 年 7 月の豪雨災害での支援活動の様子も交えてお話しいただきました。佐藤氏からは、川崎南部ブロックの紹介から、昨年度試行した災害時安否確認システムの運用報告がなされました。課題を検討し、今年度も実施予定となっています。川崎南部ブロック長佐藤範佳氏、会場の提供から準備のご協力をいただきました川崎幸病院の皆さま、本当にありがとうございました。

平成 26 年 11 月に鎌倉ブロックよりはじまった「災害対策キャラバン」も川崎南部ブロックでの開催をもって、本会 12 ブロックすべてのブロックにて開催する事ができました。これまでご参加いただいた皆さまに感謝申し上げます。また、本事業を支えていただきました災害対策委員、エリアコーディネーターの皆さま、そして会場等の調整において、各ブロックでご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。多くの方々に、多大なる労力と時間を割いていただき、ここまで辿りつくことが出来ましたが、課題も山積しています。今後は、ブロック事業や地域事業等に「災害支援」のコンテンツを加えていただき、継続していただければと思います。次年度より災害対策委員会では、事業内容をリニューアルしてサポートしてまいります。引き続き本会災害対策委員会事業をよろしく願い致します。

災害対策委員会 下田栄次



H31.2.13 川崎南部ブロック災害対策キャラバン研修会

開催日:平成31年2月13日(水) 会場:社会医療法人財団 川崎幸病院

参加者:23名(会員:17名 非会員:6名) アンケート回答数:17名 アンケート回収率:74%

1.職種と経験年数

1)職種 (図1)

単位:名

PT	OT	ST	その他
12	5	0	0

2)所属 (図2)

単位:名

医療機関	老人保健施設	デイサービス	訪問リハ・訪問看護	行政	その他	未回答
13	0	0	2	0	1	1

3)経験年数 (図3)

単位:名

10年以上	10年未満	5年未満	未経験
3	6	8	0

2.研修会の評価

1)講義①「川崎市の防災対策」(図4)

講師:早川雄大氏(川崎市 総務企画局 危機管理室 危機管理計画担当)

単位:名

評価内容は理解できた	かなり そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
	13	4	0	0

2)講義②「川崎市における災害時の保健医療対策について」(図5)

講師:外村由貴氏(川崎市 健康福祉局 保健所 健康増進課)

単位:名

評価内容は理解できた	かなり そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
	8	9	0	0

3)講義③「川崎南部ブロック 災害時会員安否確認システム試験運用 実施報告」(図6)

講師:佐藤範佳氏(医療法人愛仁会 太田総合病院 リハビリテーション科)

単位:名

評価内容は理解できた	かなり そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
	12	5	0	0

1. 職種と経験年数

図1. 職種

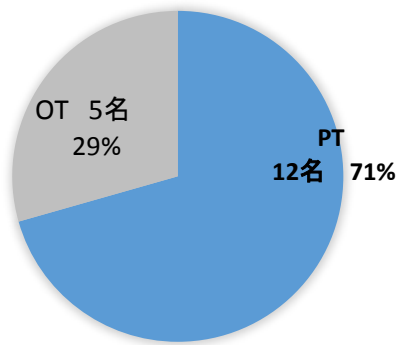


図2. 所属

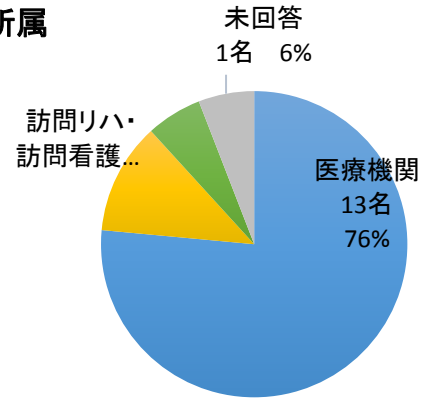
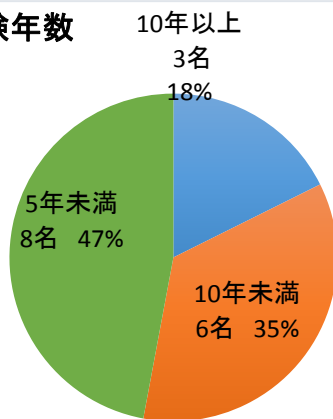


図3. 経験年数



2. 研修会の評価

図4. 講義①の内容は理解できた

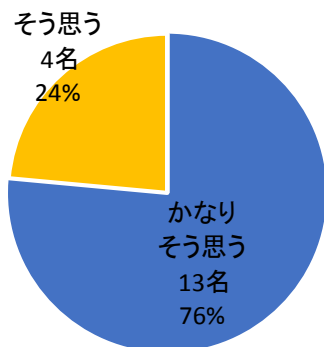


図5. 講義②の内容は理解できた

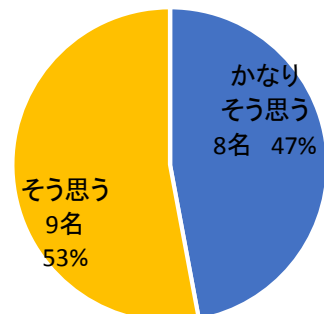
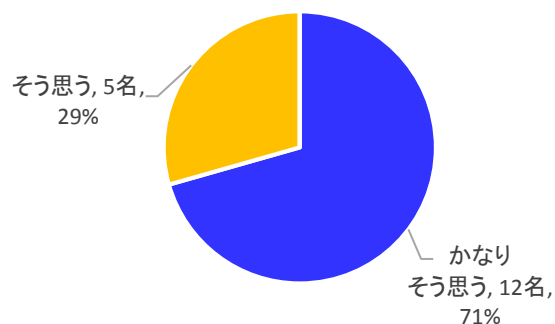


図6. 講義③の内容は理解できた



3.研修会に参加した感想

- ・災害発生時に院内だけでなく地域で自分が理学療法士として何ができるのかを考えるきっかけになり、良い経験となりました。ありがとうございました。
 - ・災害対策について具体的に学ぶことができよかった。自身も東日本大震災の際被災者であり、今後理学療法士として災害に関われたらと思います。
 - ・川崎市が取り組んでいる防災の対策について知ることができる良い機会になりました。今日得た情報を周りと共有していきたいと思いました。
 - ・川崎市の災害対策制度をよく知ることができ、自分自身を意識するきっかけとなりました。
 - ・現在、病院に勤務していますが、自身の病院の災害時の対策がしっかりなされているが考えるきっかけになりました。また、自分自身、川崎に住んでいるため、災害時の市の動きが知れて良かったです。私は26歳なのですが、18～30歳くらいまでの単身世代の地域での活動？というか団体(コミュニティ)があまりないなと感じました。職能団体くらいしかないのでしょうか？
 - ・川崎市の災害対策は学んだことがなかったため、大変勉強になりました。自分の身を守るということで、水を買う等の備えをしないといけないと強く感じました。PTとして今からできることを(関係性作りなど)を考えていきたいと思いました。
 - ・貴重な話が聞けました。災害に対する認識が高まりました。
 - ・市の対策から支援チームなどの様々なものを理解することができました。もっと情報を知っておかなければなりませんし、備蓄など今から用意できるものをしっかり準備しなければと思いました。
 - ・被災側、支援側両面においてのたまかな流れのイメージができた。
 - ・災害に対する意識づけを持つことが必要であることがわかった。
- 職場ではどのような対策が立てられているのか、または立てなければいけないか地域のために何ができるか考えなければいけないと感じた。
- ・災害に対するイメージを実践につなげる意識を高められる研修会でした。
 - ・行政の方からの対策や考え方を聞くことができ、一市民として参考になりました。
 - ・ニーズとリソースのマッチングは難しいと思った。同じ職種でも能力、得意分野が異なる、住環境、摂食、廃用対策等、活動範囲が事前にある程度、明確になっていると活動しやすいと感じた。
 - ・早川様のお話にあった「150万人が少しずつ頑張る」というメッセージは特別なトレーニングを受けた人だけじゃない人への大きなスローガンだと思いました。

4.今後の災害対策研修会について、また災害対策についての意見

- ・地域での大規模災害訓練に参加したいと思いました。OTとしては逃げやすい(車いすの通れる出入り口が2ヶ所以上)家屋環境を作るだとかが事前にできる対策なのかなと思います。
- ・病院勤務なので、院内の対策を学んでいく必要を感じました。
- ・起こりえる疾患の評価・アプローチをセラピストみんなで実践も面白いと思います。
- ・フェーズに合わせたリハ職の介入を学んでいきたい。